

平成29年度知的財産権研修[初級]実施報告

平成30年3月

平成29年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では知的財産権研修を3回実施しました。
本研修は経済産業局や地方自治体、政府関係機関、公益法人等において知的財産権関係の業務に携わる職員を対象とし、その業務遂行に必要な知識を習得することにより、知的財産権制度の理解を深め、同制度の円滑な運用に資することを目的としています。

1. 研修の概要						
(1) 日程	第1回 6月6日～9日 (4日間)	第2回 7月11日～14日 (4日間)	第3回 10月17日～19日 (3日間)			
(2) 対象	行政機関が所管する研究機関、独法、公益法人等の職員等	行政機関が所管する研究機関、独法、公益法人等の職員等	政府関係機関、地方自治体、行政機関が所管する研究機関、独法、公益法人等の職員等			
(3) 開催地	東京都	東京都	東京都			
(4) 申込人数	43名	37名	50名			
(5) 参加人数	41名	34名	47名			
(6) 講師	9名	9名	9名			
(7) 研修内容	産業財産権制度の概要 知財管理について 他	産業財産権制度の概要 知財管理について 他	産業財産権制度の概要 産学官連携の推進 他			
2. アンケート結果						
(1) 研修全体として	人数	割合	人数	割合	人数	割合
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	18名	46%	15名	44%	21名	46%
・知識や能力が向上した (有意義であった)	21名	54%	18名	53%	23名	50%
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	0名	0%	1名	3%	2名	4%
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%	0名	0%	0名	0%
・無回答	0名	—	0名	—	0名	—
(2) 主な意見・要望	<p>〈産業財産権制度の概要(第1回～3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な例を挙げて説明してくれたため頭に入りやすく、また、映像を使用したのもわかりやすかった。 ・基本的な用語説明だけでなく、その考え方についてまで説明があり、イメージしやすかった。 ・制度について満遍なく説明を受けることが出来た。また、オープン・クローズ戦略について具体例があり、分かりやすかった。 ・特許を取得することにより、技術を財産化したり、他の企業を呼び込んだりすることが出来ることを知った。地方自治体として、地元の企業に対して知的財産の重要性を発信し、活性化できたら、と考えさせられた。 <p>〈著作権法の概要(第1～3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実例を多用し、我が国における判例を通じて応用実務に至るまで説明があり、著作権の性格・意義について知見を深めることが出来た。 ・具体的な事例が多く紹介されたので、実務で活用できる知識を得られた。また、実際に直面している問題についても解決案の提示があり、大変有り難かった。 ・裁判事例を用いることでイメージしやすく、理解することができた。 <p>〈権利侵害について(第1～3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律、原理を丁寧にわかりやすい言葉で説明してくださり、理解を深めることができた。 ・特許権の本質的特徴についてや、訴訟の実例を用いての対抗内容など勉強になった。 ・実際の公開特許公報等を使つての説明で、権利侵害の判断基準について理解することができた。 <p>〈知的財産に関する契約について(第1～3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務で使われた契約書をもとに講義され、とても分かりやすかった。 ・各条文の解説や留意点、事例紹介等、実務に役立つ知識を得ることができた。 ・契約の実例により、ケーススタディすることができ、実用的な契約スキルを学び取ることができた。 					

	<p>〈知財管理について(第1・2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税務関連も合わせてのお話だったので大変役に立った。 ・多岐にわたって実務的な話を聞くことができ、参考になった。 					
	<p>〈知的財産活用戦略(第1・2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン・クローズ戦略に奥深さがあり、日本として大いに取り組むべきテーマであることが理解できた。 ・国の戦略、企業の実例を挙げながらオープン・クローズ戦略のポイントの説明があり、分かりやすかった。 					
	<p>〈グループ演習(第1・2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究者・事務等、多種の職種の方の意見を聞くことができた。 ・多数の方と意見交換でき、様々な考え方を感ずる良い機会となった。 ・グループ内で話し合うことで、特許の本質は何か、など深く考えることができた。 ・他の方との議論を通じ、自分が思いつかなかったアイデア・意見を得られたことがためになった。 					
	<p>〈不正競争防止法の概要(第3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不正競争防止法の趣旨と概要がよくわかった。 ・商標・特許等と守備範囲の違いについて分かりやすく説明があり、理解が進んだ。 					
	<p>〈地域ブランド戦略と知的財産(第3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律や権利化の話ではなく、地域ブランドを主眼とした実践的なお話で興味深かった。 ・地域ブランドを形成するには、持続的な戦略が必要だと分かった。 					
	<p>〈産学官連携の推進(第3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携のあり方、またそれに伴う共同研究や知的財産権についてのポイントを学ぶことができた。 ・課題が具体的に挙げられていたので、より実践的なお話を聞けて良かった。 					
	<p>〈知的財産政策について(第3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産政策の目的について学ぶことが出来た。 ・知的財産権管理の必要性について基本的概念を理解することが出来た。 					
	<p>〈総合的なご意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容も資料も充実しており、期待以上だった。 ・知財について集中的にプロから学ぶことで、仕事に必要な知見が得られた。 ・幅広く経験豊かな方々からレクチャーを受けることが出来、非常に有意義だった。 					
(3) アンケート回収率	39名	95%	34名	100%	46名	98%